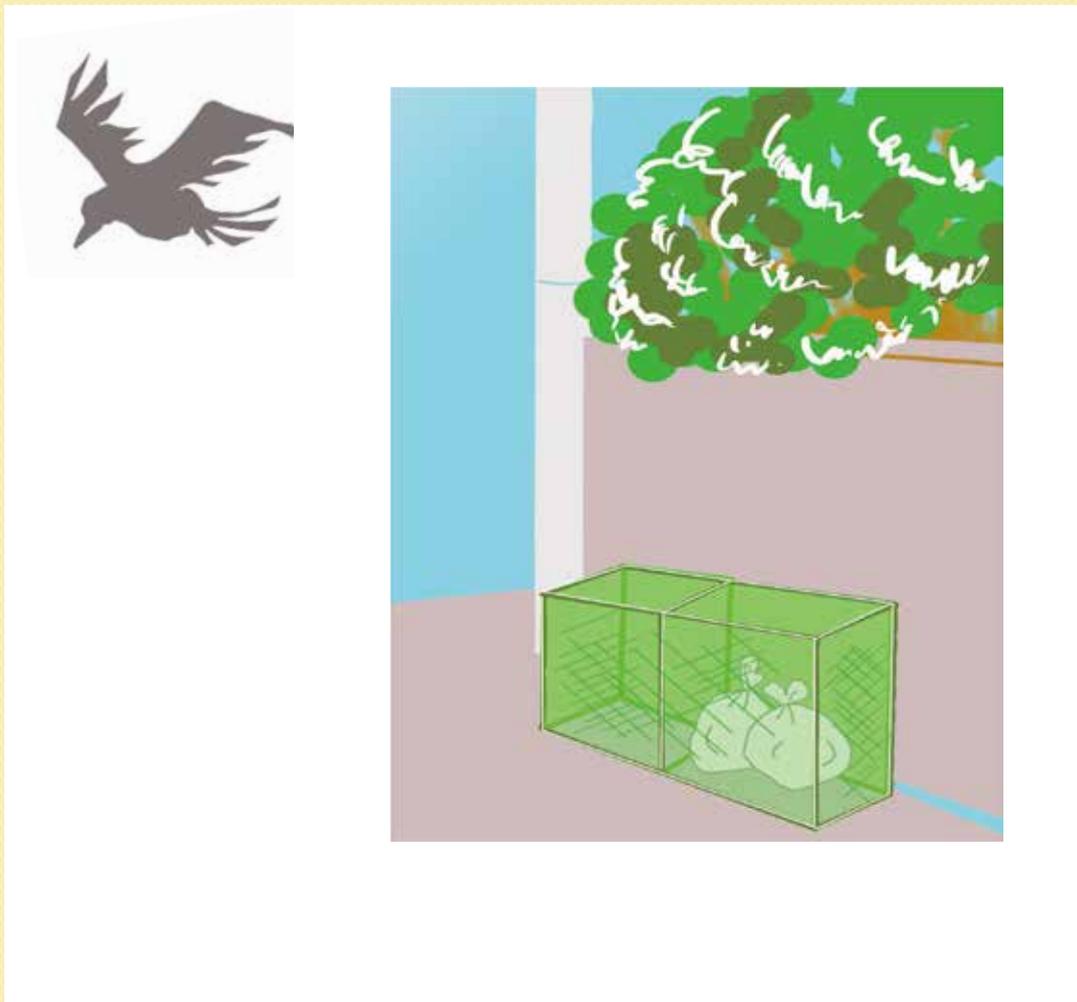


ごみ置場のカラス対策マニュアル

衛生的できれいな置場のために



令和7年4月

枚方市

はじめに

都市部に生息するカラスなどの野生動物は、自然環境で得られるえさのほかに、私たちが排出するごみも食料としています。私たちが生活の中で利用する「ごみ置場」は、こうした野生動物の格好のえさ場になることもあり、被害防止対策が十分でないと、ごみの散乱などにより地域の美観を損なうこととなります。

本市では、平成27年度に実施した「ごみの減量・リサイクルに関するアンケート調査」（市民・事業者対象）により、カラスによるごみ置場の被害状況が明らかとなりました。

本マニュアルは、その被害防止対策の一つとして作成したものであり、ちょっとした工夫や心掛けにより、ごみ置場の被害防止等に役立てることができます。

ごみ置場のカラス被害等にお悩みの皆さまには、本マニュアルを参考としていただければ幸いです。

令和7年4月 枚方市 環境部

も く じ

1. カラスの習性	1
2. カラスによるごみの散乱被害を防ぐために	
・その①「ごみ出しマナーを守りましょう」	2
・その②「ごみを上手に隠しましょう」	3
・その③「ネットなどを正しく使いましょう」	4
ネット	4
ポールなどを含むネット	5
折りたたみ式ネットボックス	6
ネットなどの活用方法における注意点	7
・その④「ごみ置場の適正管理を続けていきましょう」	8

1. カラスの習性



市街地には、生活ごみ(生ごみ等)が、定期的に排出されることで、そこに生きる野生動物のえさ場になることがあります。

野生動物の中でもカラスは特に学習能力が高いと言われており、食性は雑食で、人間のすきを狙い、ごみ置場から生ごみを取り出し、食い散らかすことで、ごみ置場周辺を汚してしまいます。



このようなカラス被害を防ぐためには、カラスの習性を知り、すきを作らないことが必要です。

また、カラス対策によって、その他の動物による被害防止にも効果を発揮します。

カラスは

とても
早起き

収集日の前夜にごみ出しをしていませんか？カラスは夜明け前から見えています…

2ページ

目がいい

調理くず等はカラスにとってごちそうです。そのごちそうを見せていませんか？

3ページ

**くちばしで
すきを狙う**

カラス対策ネットは正しく使っていますか？すきまがあっては効果がありません…

4~7
ページ

かしこい

一度見つけたえさ場のことをカラスはよく覚えています…

8ページ

2. カラスによるごみの散乱被害を防ぐために

その①「ごみ出しマナーを守りましょう」

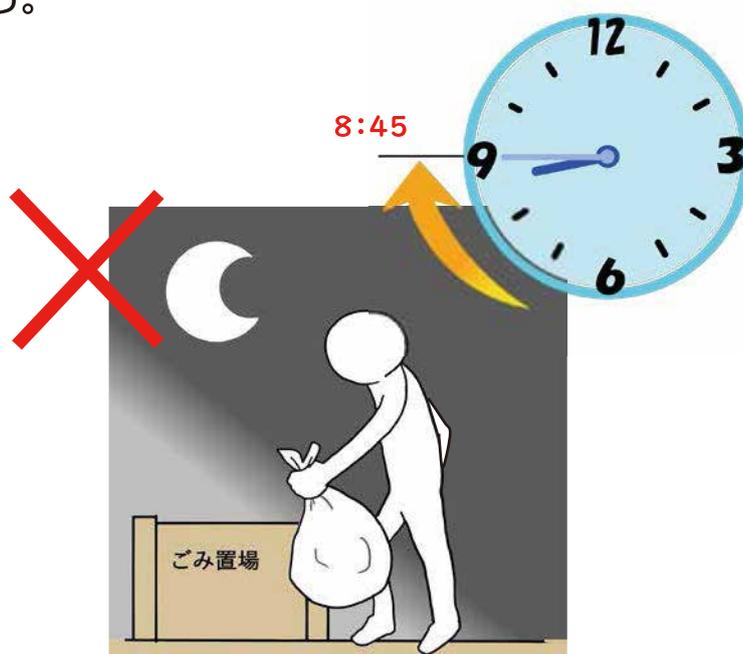


カラスはとても**早起き**

カラスは夜明け前から活動を始め、ごみ置場周辺でごみ出しを待っています。

収集日の前夜にごみ出しをするなど、**長時間にわたりごみが置かれている状態**になれば、**ごみの散乱被害を受けやすくな**ってしまいます。

散乱被害を防ぐためには、決められた収集日に、決められた場所へ、決められたごみを出すようにしましょう。



収集日当日の朝8時45分 ぎりぎりに出すのが効果的です。

その②「ごみを上手に隠しましょう」

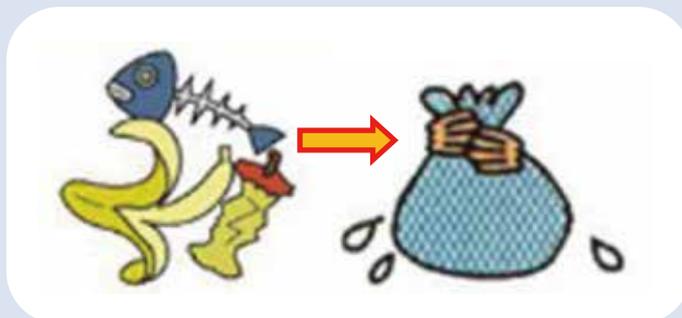


カラスは**目がいい**

カラスは、嗅覚があまり発達していないかわりに、視力は人間の数倍程度と言われており、木や電柱など高い場所からでもごみ置場のえさを見つけることができます。

そこで、効果的な対策として、カラスのえさとなる調理くず等の生ごみ類を見えなくする方法があります。手順は、以下の方法を参考にしてください。

1. 生ごみは十分に水切りをした上で、調理くずを新聞紙やチラシで包み、周りから見えないようにしてください。



2. ごみ袋に入れる際は、その他のごみで包み込みごみ袋の中央に入れるようにすると効果的です。

※廃食用油を液体のままごみに出すと、カラスが散らかした際にごみ置場や周辺道路を汚してしまいます。廃食用油類は、布や紙に吸着させたり、凝固剤等で固めるなど飛散しないようにしてから排出してください。

調理くず等は「隠しましょう」。

本市では、ごみ出しルールに基づかないごみを、「間違いごみ」として収集していません。

袋の中身すべてを見えないようにすると、間違いごみの対象になりますので、無色透明・白色半透明の45リットル以下のポリ袋に入れ、調理くず等野生動物のえさとなるものだけを見えないようにしてください。



その③「ネットなどを正しく使いましょう」



カラスのくちばしはすきを狙う

本市が実施したアンケート調査では、カラス対策ネットを使用しているにもかかわらず、ごみ置場を荒らされてしまうといったご意見が多くありました。

しかし、ネットを正しく使用できているのか、もう一度確認してみましょう。ネットと地面の間にすきまがあったり、ネットの網目が粗い、または、破れているなどの状態では、くちばしでごみ袋を引っ張り出してしまいます。ネットなどを利用する場合は、しっかりとすきまを無くすなどカラスがごみを引っ張り出せない状態にしましょう。

ネット

軽いネットが風にあおられた場合、ネットがめくれてしまうことがあります。重石付きネットを使用したり、水を入れたペットボトル等を重石にして、ネットがめくれ上がらないようにしましょう。

また、ネットを使うときはカラス対策のための専用ネットを使いましょう。

別の用途で作られた網目の粗いネットでは、すきまからごみを引き出す可能性があります。

横のすきまも要チェック！



ペットボトルを活用し、すきまなくごみ袋を覆ってあり、カラスがつけ入るすきがありません。



ごみ置場の端にすきまがあり、**物理的に遮断できていない**ため、せっかくのネットがまったく効果を発揮できていません。

ネット一枚でごみ袋を覆いきれないときは、ネットのサイズを大きくすることや二枚で覆うなどの工夫をしましょう。

ポールなどを含むネット

枚方市所有のごみ置場(「ごみ置場 枚方市」の掲示があります)はコの字型にコンクリートブロックで囲み、ごみ置場の利用者がポールや棒を利用してすきまができないようにネットで覆い被害を防ぐように工夫されているところもあります。



市所有のごみ置場にポールなどを固定する場合などは、あらかじめ相談していただきますようお願いいたします。



せっかくのポール付きネットも、ごみ袋がはみ出しているため、すきまができています。すべてのごみ袋をネットで覆いましょう。人間にとっては小さなすきまでも、カラスにとっては大きなすきまでです。

折りたたみ式ネットボックス

このタイプのものは、ごみがボックス内に収まっていれば、ほとんどのカラス被害を防ぐことができます。ご利用される世帯数などに合わせて、週の前半などのごみ量が多



いときでも納まる大きさで、**上部や前面が開くもの**を選んでください。

なお、道路を一時使用してごみを集積する場合は、歩行者等の安全を確保し、**収集が終わりましたらすぐに片付けてください**。

枚方市所有のごみ置場(「ごみ置場 枚方市」の掲示があります)など、専用のごみ置場をご利用されている場合は、置場の大きさに合ったものを選んでください。

なお、枚方市所有のごみ置場に設置する場合は、あらかじめ相談していただきますようお願いします。



※収集に支障がある場合は改善をお願いすることがあります。

本市では、折りたたみ式ネットボックスがカラス対策の有効な一つの方法であると考えておりますが、以下の点には十分に配慮してください。

- ・管理・保守点検等は利用者が行ってください。
- ・正規の状態で使用し、改造等はしないでください。
- ・道路上を一時使用される場合は、自転車や歩行者等の通行の妨げとなりますので、収集終了後は速やかに片付けてください。
- ・ごみ保管用具による事故や破損等につきましては、枚方市に起因する場合を除き、利用者で対応してください。



**カラスに突つかれないように
ごみとの接点をなくしましょう。**



ネットなどの活用方法における 注意点

さまざまな対策用具がありますが、一番気をつけなければならないのは、それら用具がごみ袋を完全に覆い、カラスなどの野生動物から見えない状態になっているのを確認することです。正しく活用できていなければ、せっかくの対策も効果を発揮できません。

ネットなどを正しく活用し、いつもきれいなごみ置場にしましょう。



無意識にごみを出すと、野生動物によるごみの散乱を招くだけでなく、歩行者や自転車の通行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。

ごみを出す際には、歩行者や自転車の通行の妨げにならないように注意してください。

その④「ごみ置場の適正管理を続けていきましょう」



カラスは **かしこい**

カラスは学習能力にすぐれ、いろいろなことを学び、慣れてしまうため、対策が難しいという側面もあります。例えば、きらきらと光るCDをぶら下げるなど、カラスの警戒心を利用した間接的な防除は、一時的な対策にはなりません。しかし、これがどこにでもあり、カラスが慣れてしまうと、かえって「ここにえさがある」ということを教えてしまうことにもなりかねません。

また、カラスは記憶力にもすぐれており、一度えさを見つけた場所を何十カ所も覚えているので、私たちはごみ置場の適正な管理を続けていく必要があることも忘れてはなりません。



この置場ではブルーシートを活用し、調理くず等が見えないはずですが、カラスに「**えさがある**」ことを覚えられており、狙われてしまいました。

また、ペットボトルやコンクリートブロックで抑えていますが、**すきまがある**ために食い荒らされています。



一時的にごみの散乱被害が減っても、**利用するみなさんで協力し、ごみ置場の適正管理を続けましょう。**



枚方市キャラクター
「ひこぼしくん」

編集・発行

枚方市 環境部 環境事業課

〒573-1162 枚方市田口5-1-1

Tel : 072-849-7969

Fax : 072-848-1821